

## 施策 1 1 4 感染症の予防と体制の整備

### 基本事業 1 1 4 0 1 感染症予防普及啓発の推進（主担当 健康増進課）

医療機関の協力を得て感染症の患者発生状況、病原体検索結果等により流行状況を早期に把握し、三重県感染症情報センターから予防、診断等に役立つ情報を提供・公開しています。

#### 1 感染症発生動向調査事業

管内医療機関医師や医療機関定点から提供される感染症の発生状況をコンピュータオンラインシステムにより三重県感染症情報センターへ報告します。

同センターで集約された感染症に関する情報は、インターネットを利用したコンピュータシステムにより迅速に分析、提供、公開することで感染症のまん延を未然に防ぎます。

- (1) インフルエンザ（内科）定点・・・4ヶ所
- (2) インフルエンザ（小児科）定点・・・7ヶ所
- (3) 小児科定点・・・・・・・・・・7ヶ所
- (4) 眼科定点・・・・・・・・・・2ヶ所
- (5) STD定点・・・・・・・・・・2ヶ所
- (6) 基幹定点・・・・・・・・・・1ヶ所

#### 2 発生動向病原体検査

感染症の患者情報と共に病原体に関する情報を一元的に収集・分析、提供、公開するシステムを構築し総合的な感染症対策に資するため、有効かつ的確な検査事業を実施します。

実施件数

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

四類感染症							
Q熱	SFTS	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	マリア	ライム病	レプトスピラ症
1	1	1	71	2	1	1	1

五類感染症（全数）		五類感染症（定点）					
先天性風しん症候群	麻しん風しん	インフルエンザ	感染性胃腸炎	手足口病	突発性発疹	百日咳	
1	10	15	35	12	4	6	

五類感染症（定点）		
ヘルパンギーナ	RSウイルス感染症	無菌性髄膜炎
2	2	6

## 基本事業 11402 感染症危機管理体制の整備 (主担当 健康増進課)

平常時から感染症の正しい知識の普及啓発を実施し、伊勢志摩地域における感染症等の健康危機発生を予防するとともに、拡大防止のため迅速かつ的確な対策を総合的に推進してまん延防止に努めています。

### 1 感染症発生状況 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

一類感染症：0 件

二類感染症：0 件 (結核を除く)

三類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 12 件 (保菌者を含む)  
細菌性赤痢 1 件

四類感染症：日本紅斑熱 51 件、A 型肝炎 1 件、オウム病 1 件、日本脳炎 1 件、  
チクングニア熱 1 件、レジオネラ症 1 件

五類感染症：ウイルス性肝炎 1 件、急性脳炎 1 件、先天性風しん症候群 1 件、  
後天性免疫不全症候群 (HIV 含む) 3 件、破傷風 1 件、風しん 13 件  
侵襲性肺炎球菌感染症 1 件

#### ○ 発生状況の推移 (三類感染症) (年度)

区 分	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	1
腸チフス	0	0	0	0	0	0	0
パラチフス	0	0	0	0	0	0	0
腸管出血性 大腸菌感染症	2	7	14	7	3	5	12
合 計	2	7	14	7	3	5	13

### 2 検疫実施状況

検疫通報件数 0 件

### 3 行政検査実施件数

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

腸管出血性大腸菌		細菌性赤痢		麻しん	合 計
家族・接触者	陰性化検査	家族・接触者	陰性化検査		
24	24	5	1	1	55

### 4 伊勢地域感染症対策会議の開催

伊勢地域における感染症等の健康危機発生を予防するとともに、拡大防止のための迅速かつ的確な対策を総合的に推進するために連絡会議を開催しました。

地域の蔓延状況を周知するためにも、発生状況等、日本紅斑熱に係る正しい情報について、広く啓発を行う事となりました。

日 時：平成 25 年 7 月 2 日 (火) 19:30～

場 所：三重県伊勢庁舎 4 階 401 会議室

内 容：ア 伊勢地域における日本紅斑熱の発生状況について

- イ 三重県におけるマダニ由来感染症検査状況について
- ウ この地域の日本紅斑熱について
- エ 最近注目を集める重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について
- オ マダニ咬傷にどう対応するか
- カ 啓発チラシについて

## 基本事業 1 1 4 0 3 感染症対策のための相談・検査の推進

(主担当 健康増進課)

結核患者・家族・接触者に対し、定期及び定期外健康診断を実施し、まん延の防止を図ります。

性感染症まん延防止のため、知識の啓発を図ると共に相談や検査を実施します。

### 1 結核予防対策

結核の予防及び結核患者に対する適正な医療の普及を図るとともに、接触者健診に重点を置き患者管理の徹底を図りました。

新たに発生する結核患者に占める高齢者の割合は年々増加傾向にあることから、高齢者に関わる各機関に対して啓発活動を強化し、早期発見・早期治療及び服薬支援体制整備に繋げました。

また、学校保健においては教育委員会と連携を図り、集団感染の予防対策に努めました。

#### (1) 定期健康診断実施状況

平成 26 年 3 月 31 日現在

区分	定期							計
	事業者	学校長			施設 の長	市町長		
		高校	大学	その他		乳幼児	その他	
BCG接種者数							1,258	1,258
間接撮影者数	913	2,376	0	76	363		2,822	6,550
直接撮影者数	7,923	10	766	30	1,321		14,791	24,841
喀痰検査	0	0	1	0	1		2	4
被 発 見 者 数	結核患者	0	0	1	0		0	1
	結核発病のお それがあると 診断された者	0	0	0	0		0	0

#### (2) 接触者・管理健康診断実施状況

平成 26 年 3 月 31 日現在

区分	受診者数	ツ反応検査	B C G	直接撮影	喀痰検査	Q F T検査	結果	
							要治療	要注意
家族接触者健診	341	2	0	186	0	159	2	3
管理健診	16	0	0	16	0	0	0	0
計	357	2	0	202	0	159	2	3

### (3) 結核登録患者状況

市町別結核登録者数

平成25年12月31日現在

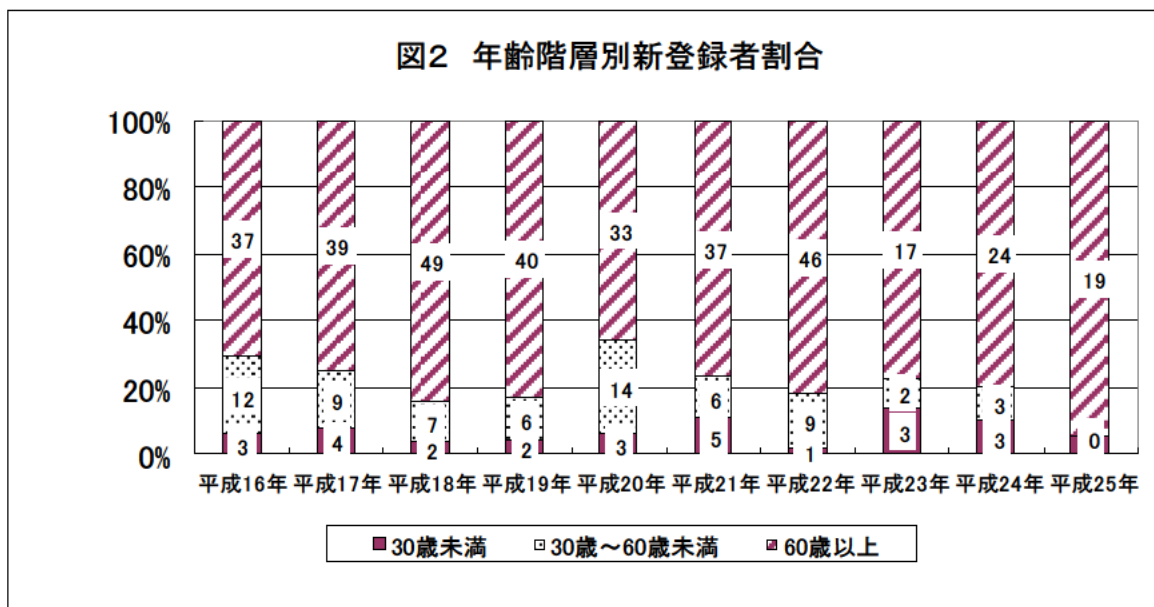
区分 市町名	登録数	活動性	新登録数	人口	有病率	罹患率
伊勢市	24	4	7	128,172	3.1	5.5
鳥羽市	6	1	2	20,153	5.0	9.9
志摩市	25	7	7	51,988	13.5	13.5
玉城町	2	0	1	15,347	0.0	6.5
度会町	2	1	1	8,397	11.9	11.9
大紀町	4	1	1	9,335	10.7	10.7
南伊勢町	9	1	1	13,484	7.4	7.4
管内合計	72	15	20	246,876	6.1	8.1

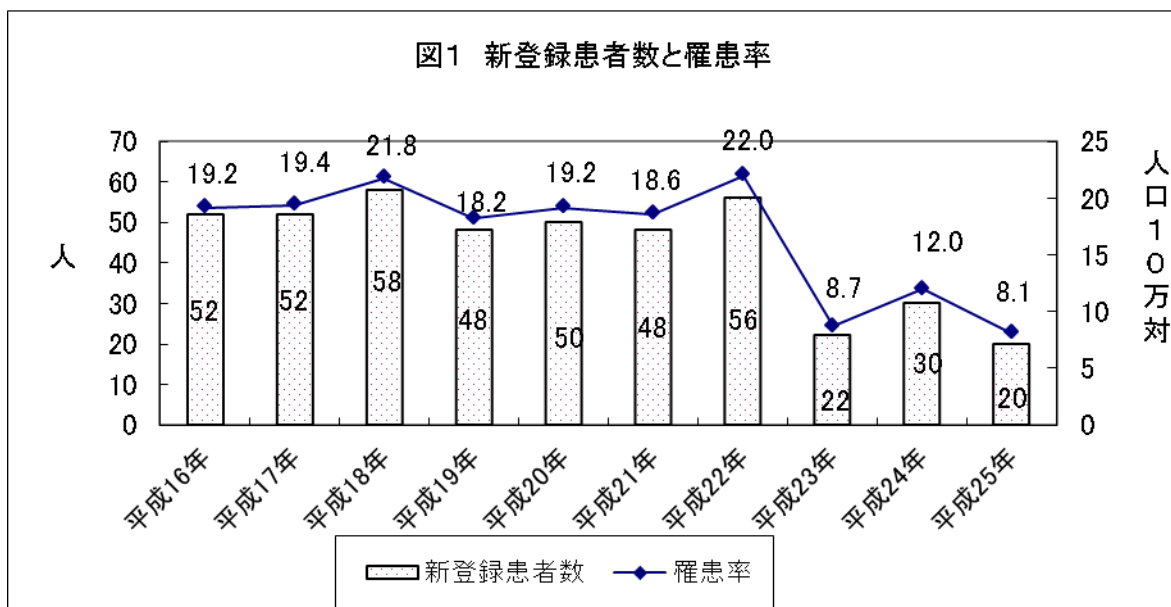
(注) 人口は平成25年10月1日現在。

有病率：活動性全結核患者数／人口×10万人

罹患率：新規登録結核患者数\*／人口×10万人 \*潜在性結核感染症除く

### (4) 結核に関する統計資料





### (5) 学校保健との連携

学校保健では、結核患者の早期発見及び集団感染の予防のため、定期健康診断を実施しています。保健所は公衆衛生の専門機関として、教育委員会や保健所感染症診査協議会の専門医と協力し、結核患者に関する情報の整理や教育委員会主催の結核対策委員会運営にあたり、事務局への助言・指導を実施しました。

### (6) 平成25年度結核対策特別促進事業

患者の高齢化と服薬環境の多様化に伴い、医療機関や地域の関係機関との連携を強化した個別の服薬支援が重要であることから、院内DOTSから継続した地域DOTSを推進することで、結核の最大の予防策である服薬の完遂をめざした。

- ① 結核病床を有する病院とのDOTSカンファレンス  
参加者：医師、看護師、ソーシャルワーカー等  
実施回数：11回（伊勢赤十字病院）  
内容：入院中及び退院後の患者についての事例検討、情報交換
- ② 個別の服薬支援  
訪問延べ102件、郵送延べ10件、電話延べ32件、  
所内面接延べ8件
- ③ 結核の知識普及・啓発  
研修会の実施：  
高齢者介護施設 3施設 受講者数102名  
地域住民（退職者の会） 受講者数18名  
保健所ホームページに掲載：  
結核予防に関する知識・情報について

※「DOTS」とは、Directly Observed Treatment, Short-course（直接服薬確認療法）のことで、WHOの推奨する患者の服薬を医療従事者等の第三者が確認する治療法をいいます。日本では平成12年に日本版21世紀型DOTS戦略として、必要に応じてDOT（Directly Observed Therapy：直接管理下治療）も用いる包括的な服薬支援体制を推奨しています。

## 2 エイズ相談・検査及び普及啓発事業

エイズ対策として、性感染症や大きな社会問題となっているエイズのまん延防止をはかるため、知識の普及、啓発を図るとともに、検査、医療の充実、相談、指導など総合的に事業を展開しました。

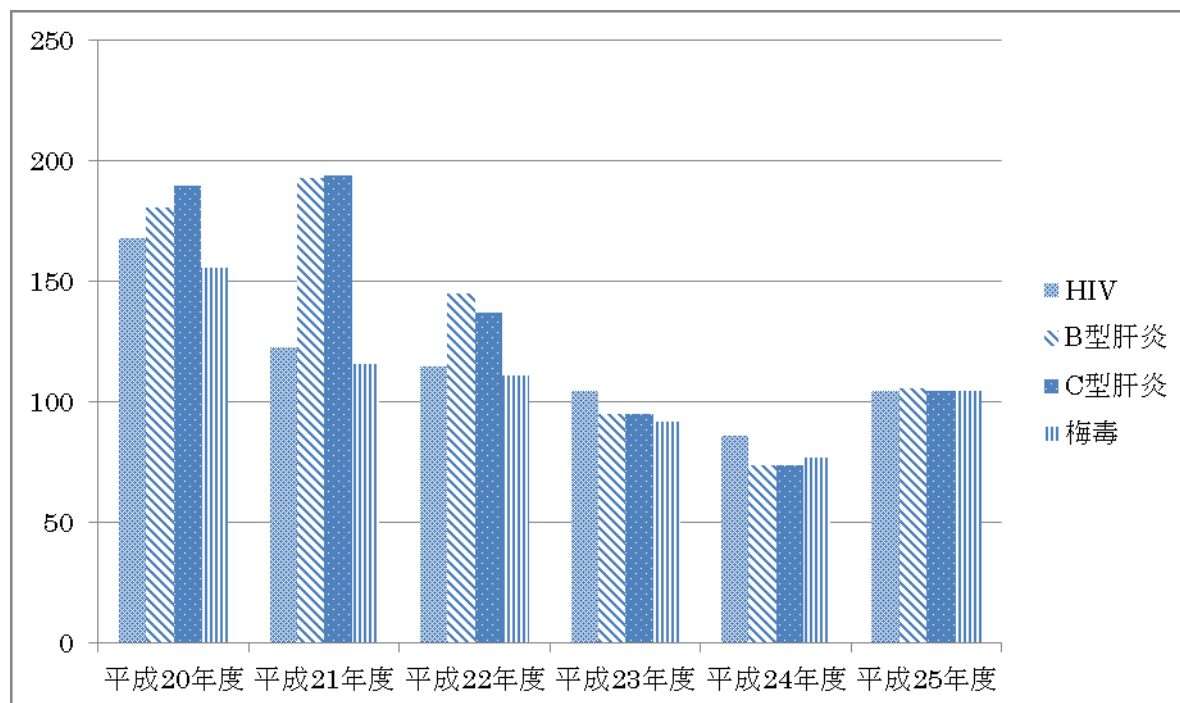
(1) エイズに関する正しい知識の普及啓発を図るとともに相談及び抗体検査を実施しました。

平成26年3月31日現在

相 談 件 数					検 査 件 数	
電 話		来 所		合 計	スクリーニング検査	確認検査
男	女	男	女			
7 (0)	3 (0)	6 (0)	3 (0)	19 (0)	105 (31)	1 (0)

( ) 内は夜間実施分(再掲)

### ○特定感染症検査数の推移



(2) エイズ感染予防と患者及び感染者への偏見の除去、さらに共生社会への構築を図るための普及啓発を実施しました。

○ HIV検査時に相談者にアンケート調査を実施し、HIVに関する知識、理解度を把握しました。

○ 世界エイズデーキャンペーン実施状況

実施日	対象者	内 容
・平成 25 年 11 月 2 日	・学生と地域住民	エイズ予防に関する呼びかけと啓発物品 ポケットティッシュ 1,600 個の配布
・平成 25 年 11 月 29 日	・近鉄宇治山田駅 利用者	
・平成 25 年 11 月 25 日～ 11 月 29 日	・職員、地域住民等	伊勢庁舎ロビーにおいて、啓発用ティッシュとパンフレットを設置し配布。

### 3 特定感染症検査

#### (1) 梅毒等検査状況

「性感染症に関する特定感染症予防指針」に基づき、エイズ相談・検査の希望者に対して梅毒検査を実施することにより性感染症の予防の推進を図り、またウイルス性肝炎の検査を推進することで、これら感染症のまん延の防止及び発生予防を図りました。

平成 26 年 3 月 31 日現在

	梅毒	B型肝炎	C型肝炎
男	71 (21)	72 (21)	71 (21)
女	34 (10)	34 (10)	34 (10)
合 計	105 (31)	106 (31)	105 (31)

( ) 内は夜間検査実施分 (再掲)